

連携プレーで世界遺産守る

識名園で文化財防火訓練



市は各文化財の愛護と防火意識を市民に広めようと世界遺産に登録された「国指定特別名勝・識名園」で文化財防火訓練を行いました。

御殿三番座付近からの出火を想定、発煙筒の煙が湧き上り、非常ベルが鳴り響く中、同園委託職員らは真剣な表情で屋外消火栓のホースを引き、初期消火を準備。到着した消防隊員のホースと共に一齊に放水し、「大切な文化財を自ら守ろう」と迅速な連携プレーで消火にあたりました。

—コース・ダイジエストNAHA



エコマネーで街が活性化する
「ユイマール」社会を那覇で再生

昔から沖縄の各地域で活発に行われていた「ユイマール」。今、形を変え「エコマネー」として世界各地で利用されています。特定の地域でしか通用しないエコマネー。導入でボランティア活動や街の活性化を促し経済自立を可能にします。本市も座間味村でエコマネーを使った体験学習を行いました。流通で物やサービスの交換方法がどう変わっているか、2月2日、「那覇ユイマール」の講演会を開催しました。



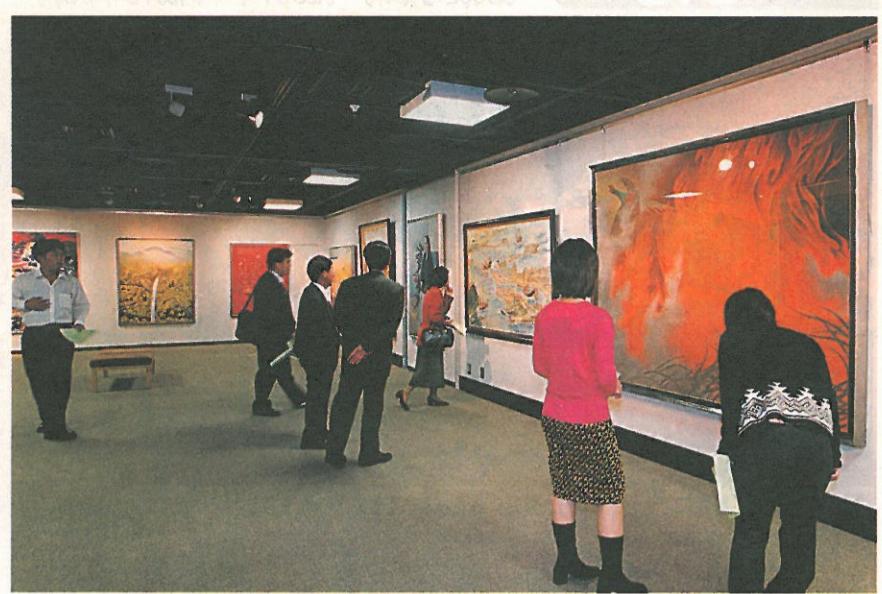
学ぶよろこび花開く
識名老人福祉センターまつり

地域の利用者がこれまでの活動成果を発表する、識名老人福祉センターまつりが二日間にわたりて賑やかに開催されました。舞台では幕開けの「かぎやで風節」(琉舞教室)、民踊「国頭」(三原松竹会)、「えんどうの花」・「二輪草」(大正琴教室)、健体育「真向法」(体操教室)など、38演目を披露。元気あふれる演舞に会場から盛んな拍手が送られました。



男性にも更年期障害がある
身体が発する危険信号

更年期障害、最近は男性も更年期の症状で苦しんでいる人が多く見受けられるようになりました。1月25日、なは女性センターで「男性の更年期について」の講座が開催されました。男性も40歳代から機能低下や体調不全を訴える人が多くなります。症状がでても単なる仕事の疲れだと片づけ、悪化させてしまい「うつ状態」に陥ることもあります。状況を軽減させるために、ストレスを溜めないライフスタイルに変えてみるのもいいそうです。



著名作家の絵画が一堂に 那覇市民ギャラリー収蔵絵画展

1月23日から28日までの6日間、市民ギャラリーの全室を使用した「那覇市民ギャラリー収蔵絵画展」が開催されました。那覇市民ギャラリーは、市民のみなさまに美術や工芸作品を展示する場を提供することで美術工芸への理解と関心を深め、市民文化の向上に役立てようと、昭和62年4月に久茂地セントラルビル5階にオープンしました。

その後、平成3年4月に現在のパレットくもじ6階に移転したあとも、展示室の提供のほか、企画展の開催や市民ギャラリー収蔵作品展などを開催し、芸術文化活動の発表・鑑賞の場として広く市民・県民に親しまれています。このたびの「那覇市民ギャラリー収蔵絵画展」では、名

絵画が収蔵されているんですね」「作品から迫つてくる気迫のようなものが感じられて圧倒されます」と、感動したようすで作品に見入っていました。

絵画を鑑賞した市民は「これからも展示の機会を数多くつくって市民に鑑賞の場を提供してください」と話していました。

絵画が収蔵されているんですね」「作品から迫つてくる気迫のようなものが感じられて圧倒されます」と、感動